



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月1日

上場会社名 東ソー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4042 URL http://www.tosoh.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 寿宣
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 経営管理室長(氏名) 河本 浩爾 (TEL) 03-5427-5123
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	190,447	14.7	21,404	21.8	23,646	74.1	16,487	92.9
29年3月期第1四半期	166,110	△9.6	17,578	14.5	13,581	△23.7	8,549	△25.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 16,301百万円(232.1%) 29年3月期第1四半期 4,908百万円(△59.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	25.39	25.36
29年3月期第1四半期	13.18	13.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	756,733	453,651	55.4
29年3月期	782,623	448,335	52.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 419,279百万円 29年3月期 413,210百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.50	—	16.50	24.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	12.00	—	24.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年6月28日開催の第118回定時株主総会において、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株の割合で併合する議案が承認可決されたため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金を12円から24円へ修正し、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は、12円となります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	370,000	9.7	44,000	6.5	44,000	20.1	30,000	20.6	46.21
通期	770,000	3.6	100,000	△10.1	100,000	△11.6	68,000	△10.1	209.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、104円74銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期1Q	650,161,912株	29年3月期	650,161,912株
30年3月期1Q	917,289株	29年3月期	894,885株
30年3月期1Q	649,257,111株	29年3月期1Q	648,869,932株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

連結業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいております。従いまして今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

平成29年8月2日（水）に、四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9
3. 補足情報	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年6月30日）のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く等、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国新政権の政策動向や中東、東アジア等における国際緊張等、海外情勢の不確実性の高まりによる国内景気への影響が懸念され、先行きには依然として不透明感が広がっております。

このような情勢下、当社グループの連結業績は、売上高については、ナフサ等の原燃料価格の上昇に伴う石油化学製品の価格上昇や海外製品市況の上昇により、1,904億47百万円と前年同期に比べ243億36百万円（14.7%）の増収となりました。営業利益については、販売価格の上昇が原燃料高の影響を上回り交易条件が改善したこと等により、214億4百万円と前年同期に比べ38億25百万円（21.8%）の増益となりました。経常利益については、為替差損益が前年同期の差損から差益に転じたことにより、236億46百万円と前年同期に比べ100億65百万円（74.1%）の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、164億87百万円と前年同期に比べ79億38百万円（92.9%）の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

石 油 化 学 事 業

エチレン、プロピレン等のオレフィン製品は、非定修年による生産量の増加に伴い出荷が増加いたしました。また、ナフサ価格等の上昇を反映して製品価格は上昇いたしました。

ポリエチレン樹脂は、国内出荷が増加し、ナフサ価格の上昇を反映して国内価格が上昇いたしました。クロロブレンゴムは、好調な海外需要に牽引され出荷が増加し、輸出価格も上昇いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ115億89百万円（33.5%）増加し461億52百万円となり、営業利益は前年同期に比べ15億21百万円（54.9%）増加し42億95百万円となりました。

ク ロ ル ・ ア ル カ リ 事 業

苛性ソーダは、国内価格の是正及び海外市況の上昇により製品価格は上昇いたしました。塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂は、出荷が堅調に推移し、国内価格の是正及び海外市況の上昇により製品価格は上昇いたしました。

セメントは、国内輸出とも出荷は堅調に推移いたしました。

ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）は、出荷は減少しましたが、輸出価格は海外市況を反映して上昇いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ126億66百万円（20.2%）増加し754億47百万円となり、営業利益は交易条件の改善により、前年同期に比べ31億65百万円（62.1%）増加し82億60百万円となりました。

機 能 商 品 事 業

エチレンアミンは、中国・アジア向けの出荷が減少いたしました。

計測関連商品は、欧州向けを中心に液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が増加いたしました。診断関連商品は、体外診断用医薬品の出荷が増加いたしました。

ハイシリカゼオライトは、石油化学触媒用途の出荷が減少いたしました。ジルコニアは、歯科材料用途や装飾品用途での出荷が増加いたしました。石英ガラスは半導体装置向けの出荷が増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ13億12百万円（3.0%）増加し444億91百万円となりましたが、営業利益は前年同期に比べ1億16百万円（1.3%）悪化し91億93百万円となりました。

エンジニアリング事業

水処理事業においては、国内では電子産業分野において売上高は減少いたしました。また、海外では台湾での電子産業向けの売上高が減少いたしました。

建設子会社の売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ15億20百万円（9.4%）減少し145億92百万円となり、営業損益は前年同期に比べ8億30百万円悪化し8億63百万円の損失となりました。

その他事業

商社等その他事業会社の売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ2億88百万円（3.0%）増加し97億64百万円となり、営業利益は前年同期に比べ85百万円（19.8%）増加し5億18百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の減少等により、前期末に比べ258億89百万円減少し7,567億33百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少等により、前期末に比べ312億5百万円減少し3,030億82百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前期末に比べ53億16百万円増加し4,536億51百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期ともに、平成29年5月10日に発表した平成30年3月期の予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	85,813	61,050
受取手形及び売掛金	199,540	193,714
商品及び製品	81,699	81,841
仕掛品	7,981	9,523
原材料及び貯蔵品	37,678	39,110
その他	36,077	34,156
貸倒引当金	△775	△784
流動資産合計	448,014	418,613
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	69,173	70,516
土地	73,464	73,399
その他（純額）	92,210	92,621
有形固定資産合計	234,849	236,536
無形固定資産		
	3,531	3,538
投資その他の資産		
投資有価証券	56,108	58,510
退職給付に係る資産	20,211	20,455
その他	20,256	19,427
貸倒引当金	△349	△349
投資その他の資産合計	96,227	98,044
固定資産合計	334,608	338,120
資産合計	782,623	756,733

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,835	84,228
短期借入金	82,383	83,292
未払法人税等	25,100	8,125
引当金	8,274	6,630
その他	32,293	39,770
流動負債合計	247,886	222,047
固定負債		
長期借入金	57,459	53,133
引当金	2,501	803
退職給付に係る負債	19,282	19,357
その他	7,157	7,739
固定負債合計	86,400	81,034
負債合計	334,287	303,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	44,719	44,718
利益剰余金	301,820	307,594
自己株式	△360	△384
株主資本合計	401,352	407,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,004	14,589
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	△2,464	△3,914
退職給付に係る調整累計額	1,320	1,502
その他の包括利益累計額合計	11,857	12,177
新株予約権	269	269
非支配株主持分	34,855	34,102
純資産合計	448,335	453,651
負債純資産合計	782,623	756,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	166,110	190,447
売上原価	122,859	142,241
売上総利益	43,251	48,206
販売費及び一般管理費	25,672	26,802
営業利益	17,578	21,404
営業外収益		
受取利息	42	35
受取配当金	875	1,084
為替差益	-	424
持分法による投資利益	550	455
その他	725	608
営業外収益合計	2,193	2,608
営業外費用		
支払利息	435	253
為替差損	5,618	-
その他	136	112
営業外費用合計	6,191	366
経常利益	13,581	23,646
特別利益		
固定資産売却益	97	15
投資有価証券売却益	9	-
特別利益合計	106	15
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	473	231
投資有価証券評価損	-	2
減損損失	-	3
特別損失合計	473	237
税金等調整前四半期純利益	13,214	23,423
法人税等	4,739	7,418
四半期純利益	8,475	16,004
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△73	△482
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,549	16,487

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	8,475	16,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△859	1,554
繰延ヘッジ損益	3	5
為替換算調整勘定	△2,819	△1,475
退職給付に係る調整額	221	208
持分法適用会社に対する持分相当額	△113	3
その他の包括利益合計	△3,567	296
四半期包括利益	4,908	16,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,158	16,807
非支配株主に係る四半期包括利益	△249	△506

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	34,562	62,781	43,179	16,112	9,475	166,110	—	166,110
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,118	7,159	2,948	3,468	11,639	41,334	△41,334	—
計	50,680	69,940	46,128	19,580	21,114	207,445	△41,334	166,110
セグメント利益 又は損失(△)	2,773	5,094	9,310	△33	433	17,578	—	17,578

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処
理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	46,152	75,447	44,491	14,592	9,764	190,447	—	190,447
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,235	6,642	2,926	2,891	12,337	43,033	△43,033	—
計	64,387	82,090	47,417	17,483	22,101	233,481	△43,033	190,447
セグメント利益 又は損失(△)	4,295	8,260	9,193	△863	518	21,404	—	21,404

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処
理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 補足情報

2017年度第1四半期連結決算概要平成29年8月1日
東ソー株式会社

(1) 業績

(単位:億円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増 減	2016年度	2017年度(予想)
売 上 高	1,661	1,904	243	7,430	7,700
営 業 利 益	176	214	38	1,112	1,000
経 常 利 益	136	236	101	1,131	1,000
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	85	165	79	757	680
1株当たり四半期(当期)純利益	13円18銭	25円39銭	12円22銭	116円56銭	209円47銭

(注)2017年度の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の2017年度の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、104円74銭となります。

(2) 指標

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増 減	2016年度	2017年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	108.04	111.09	3.05	108.35	110.00
為替[TTM期中平均](円/EUR)	121.88	122.26	0.38	118.75	115.00
国産ナフサ価格(円/KL)	31,600	39,000	7,400	34,725	41,000

(3) 事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

		2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売上高	346	462	116	43	72	-	-
	営業利益	28	43	15	12	-	△2	5
クロル・アルカリ	売上高	628	754	127	11	115	-	-
	営業利益	51	83	32	△16	-	44	4
機能商品	売上高	432	445	13	24	△11	-	-
	営業利益	93	92	△1	14	-	△9	△6
エンジニアリング	売上高	161	146	△15	△15	0	-	-
	営業利益	0	△9	△8	△8	-	0	△1
その他	売上高	95	98	3	3	0	-	-
	営業利益	4	5	1	1	-	0	0
合 計	売上高	1,661	1,904	243	66	177	-	-
	営業利益	176	214	38	3	-	33	2

(注)億円未満は四捨五入